

## 第 186 回

## クラシックファンのためのコンサート

2018年 4月12日(木) 大阪倶楽部 4階 ホール 午後7時開演

## 秋山 裕子 チェンバロリサイタル

〈プログラム〉

J. S. バッハ (1685~1750)

## ゴルトベルク変奏曲 BWV988

(アリアと種々の変奏)

アリア	(1):一段鍵盤	(2):二段鍵盤	
第1変奏 (1)	第2変奏 (1)	第3変奏 1度のカノン (1)	
第4変奏 (1)	第5変奏 (1,2)	第6変奏 2度のカノン (1)	
第7変奏 ジーグのテンポで (1)	第8変奏 (2)	第9変奏 3度のカノン (1)	
第10変奏 フゲッタ (1)	第11変奏 (2)	第12変奏 4度のカノン (1)	
第13変奏 (1)	第14変奏 (2)	第15変奏 5度のカノンアンダンテ (1)	
第16変奏 序曲 (1)	第17変奏 (2)	第18変奏 6度のカノン (1)	
第19変奏 (1)	第20変奏 (2)	第21変奏 7度のカノン (1)	
第22変奏 アラ・プレーベ (1)	第23変奏 (2)	第24変奏 8度のカノン (1)	
第25変奏 アダージョ (1)	第26変奏 (2)	第27変奏 9度のカノン (2)	
第28変奏 (1)	第29変奏 (1,2)	第30変奏 クォドリベット (1)	
アリア			



第186回は、秋山裕子氏をお迎えしてチェンバロリサイタルを行いました。秋山氏はドイツ国立デトモルト音楽大学のチェンバロ科を最高位を得て卒業し、その後はリサイタルや古楽器によるアンサンブル演奏を続ける一方、オーケストラの通奏低音奏者としても活躍されています。

曲目は、J.S.バッハの「ゴルトベルク変奏曲」でした。バッハの弟子のゴルトベルクが、不眠症に悩むカイザーリンク伯爵のために演奏したという逸話からこの曲名がつけられたそうです。

最初と最後にアリアを配置し、その間に30の変奏が展開される大曲を休憩なしに熱演されました。その素晴らしい演奏や優しいチェンバロの音色に魅了されたひと時でした。



〈ご来場者のアンケートより〉

- ・チェンバロ独奏というのは本当に珍しく、他で聴けるものでなくこの企画、ほんとに嬉しかったです。
- ・チェンバロの演奏は初めてでした！タイムスリップしたような、優しい軽快な音色に気持ちが明るくなります。
- ・滅多に楽しめないチェンバロを存分に拝聴できて、嬉しく楽しかったです。フラフラになるすごい演奏に感動です。こんな激しい楽器とは思っていませんでした。
- ・大好きなゴルトベルク変奏曲をチェンバロで間近で聴けたのは一生の思い出です。夢のような1時間でした

## NPO法人クラシックファンのためのコンサート

〒550-0025 大阪市西区九条南2丁目18番16号

TEL 080-4824-4001 FAX 06-7635-8590 WEB [classicfan.jp](http://classicfan.jp) MAIL [contact@classicfan.jp](mailto:contact@classicfan.jp)